

医薬品情報学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》小林 道也 (薬学部) 笠師久美子 中村 文哉 (特別講師)

【概要】

医薬品情報とは、医薬品が単なる物質ではなく「くすり」であるために必須な情報であり、常に更新されている。この講義では、薬剤師として医薬品の適正使用に貢献していくために、医薬品情報を正しく理解し、取り扱うことができるようになることを目的として、医薬品情報の収集、評価、加工、提供、管理に関する基本的知識、技能、態度を修得する。また、医薬品情報を適切に扱うためには、薬学部において学ぶほとんどの授業内容を修得している必要のあることを体感する。

【学修目標】

医薬品情報の収集・評価・加工・提供・管理・評価に関する基本的事項を修得する。
患者に安全・最適な薬物療法を提供するために、適切な医薬品情報を収集・整理・加工できる能力を修得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー（学位授与方針）との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

小林道也（薬剤師）、笠師久美子（薬剤師）、中村文哉（薬剤師）

【実務経験を活かした教育内容】

学内教員はいずれも日本医薬品情報学会会員であり、臨床における医薬品情報管理業務はもとより、行政や製薬企業における医薬品情報に関連する実務知識も豊富である。また、特別講師は現役の薬剤師であり、保険薬局における具体的な医薬品情報の活用について講義する。